

科目名	実用英語 (TOEIC)		英文表記	Practical English (TOEIC)		平成23年3月17日	
科目コード	1003						
教員名 :	大石敏弘、鈴木伸子、高嶺 司					作成	
技術職員名 :							
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	1年	必	学修	2単位	演習	通年	
目標 及び 評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	① YL1.0程度の英文を目で追いながら、テープが読み上げるスピードで理解することができる速読力を身につける。			① 前期末試験 (20%) , 後期末試験 (20%)			
	② 一授業時間に前期2000語・後期3000語以上の多聴を行い、TOEIC BridgeのListening部門に対応できる聴解力を身につける。			② TOEIC Bridge IP テストリスニング部門: 第一回 (5%)、第二回 (25%)、			
③ 自己紹介の発表を通じて、簡単な内容を英語で表現することができるようになる。			③ 発表・音読の評価(20%)、多聴ログの記録結果(10%)				
高専 目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	全プログラム	
	◎	○	○	(空)	JABEEプログラム教育目標	MS(C-5), IC(C-1), MI(C-3), BR(C-2)	
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 多読図書の音声教材やCD-ROM、DVDなどのマルチメディアを利用した多聴学習および音読練習(リピーティング・オーバーラッピング・シャドウイングなど)を行う。多聴語数は毎回、ログファイルに記録する。・英語で自己紹介をする(前期)。 TOEIC Bridge の出題形式に慣れ、TOEIC Bridge IPテストに備える(後期)。 						
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> 多読図書および音声教材 (Oxford Reading Tree, Scholastic, Graded Readersなど) マルチメディア教材 (Oxford Reading Tree CD-ROM (Stage2-5)、DVDなど) 						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	Introduction	2	授業目標・評価方法・使用教材等の解説				
2	TOEIC Bridge IPテスト	2	全学生が、授業時間を利用して、TOEIC Bridge				
3	発表	4	英語で自己紹介をする。				
4~15	多聴学習および音読練習	22	多聴学習とシャドウイングなどの音読練習を、一斉に、あるいは個別に行う。(一斉学習では、CD-ROMやDVDなどのマルチメディア教材を用い、個別学習では多読図書と音声教材を用いる。)				
期末	前期末試験	[2]					
16~28	多聴学習および音読練習	26	多聴学習とシャドウイングなどの音読練習を、一斉に、あるいは個別に行う。(一斉学習では、CD-ROMやDVDなどのマルチメディア教材を用い、個別学習では多読図書と音声教材を用いる。)				
29	TOEIC Bridge IPテスト準備	2	TOEIC Bridge IPテストの説明。「TOEIC Bridge 公式ガイド&問題集」を用いてTOEIC Bridge テストに慣れるための練習を行う。				
30	TOEIC Bridge IPテスト	2	全学生が、授業時間を利用して、TOEIC Bridge IPテストを受験する。				
期末	後期末試験	[2]					
学習時間合計		60	実時間			50	